

全国の動物愛護（管理）センターへの 教育ツール・共有事業について

現在、全国の動物愛護（管理）センターなどでは、「いのちの大切さ」や「適性飼育」「殺処分数減少」を目的とした、子どもたちへの教育活動の必要性に対する認識が高まっています。こうした現状を踏まえ、公益社団法人 Knots では、全国の動物行政に関わる皆様に、動物愛護教育およびヒューメイン・エデュケーションに関する教育・啓発ツールの共有事業を展開しています。

ここでご紹介するツール類は、各地の動物愛護（管理）センターと共に企画開発を行い、すでに導入されて教育現場での実績のあるものです。こうしたプログラムは、広く一般市民の共有の財産としてブラッシュアップしていくことが望ましく、各地での実施状況や反省点を共有しつつ、教育現場とその時代に則した内容に改良を加えていける体勢を整えることが必要です。少しでも多くの動物行政の現場で、子どもたちに「いのちの大切さ」を伝える教育が実施される機会を提供し、人と動物の幸せな共生を実現する心豊かな社会が実現される未来へ向け歩みを進められることを目的としています。

「学習シート」

動物を飼うために必要な知識や、飼い主の責任などを学習することができるシートです。

【特色】

楽しいイラストとキャッチーなデザインで、さまざまな課題を学習します。大人が伝えたい内容だけを押し付けるのではなく、子供たちが遊びながら体感できるような内容になっています。



「まちがい探しクイズ」

街の中で暮らしている人と動物のイラストを見て、正しい接し方と間違った接し方をクイズ形式で見つけるシートです。裏面には、それらに対する解説とアドバイスが記載されています。

【特色】

子どもたちは迷路やまちがい探しクイズが大好きです。正しい接し方、間違った接し方を具体的にイラストで見て、それを自分で探すことによって、擬似的な体験として関わり方を学ぶきっかけを与えます。



「動物愛護カルタ」

動物と人間の関わりや、愛護教育に必要な文言を織り交ぜたオリジナル・カルタです。

【特色】

分かりやすいキャッチコピーを聞いて、遊びながら動物と人間の関わりを学ぶことができるツールです。愛護教育に馴染みの薄い実施者でも子どもたちにメッセージを伝えられるように、読み札にはワンポイントの知識が書き込まれています。



「動物愛護（管理）センターに行こう！」

大型のパネルシアター形式で動物を飼育するために必要なモノや責任を考えつつ、愛護センターの業務内容を伝えます。

【特色】

動物は、子どもたちの興味を惹く、温かみのある大型張り子を使用しますので、生体を使用せずに立体的な展開が可能となり、アレルギーや咬傷事故、動物へのストレスなどの心配がありません。さまざまなアイテムや張り子の動物を使用することによって、子どもたちがプログラムに参加することができるようになっています。



京都市「いきものとなかよし（A4 サイズ副読本＆B3 サイズ紙芝居）」

主に小学1年生を対象とした、さまざまな動物との関わりや「いのちの大切さ」を伝えることを目的とした学習ツールです。

【特色】

京都市が制定した5つの「京都動物愛護憲章」を元に、人と動物が心地よく共生できる街について考えます。塗り絵をはじめ、京都市の街に暮らす人と動物が描かれたまちがい探しクイズや動物の気持ちを想像するページ、人と動物の年齢計算、鼓動の早さの比較など、身近なことから動物について学び、自分たちが生き物とどのように関わって生活をしているのかを実感することができるように工夫されています。

